

第56回

# 教育科学研究会 全国大会 (滋賀大会)

こんな  
子育て・教育  
どうでしょう

テーマ

## 不安と不自由を こえる風

日時

8<sup>2017</sup> / 10<sub>(木)</sub> 11<sub>(金・祝)</sub> 12<sub>(土)</sub>

主催

教育科学研究会・  
滋賀大会実行委員会

後援

近江八幡市教育委員会・  
滋賀県学童保育連絡協議会

会場

近江兄弟社中学校・近江兄弟社高等学校

〒523-0851 滋賀県近江八幡市市井町 177

JR 近江八幡駅よりバス 8分 近江バス「長命寺」「休暇村」「市内循環」行、ヴォーリス学園下車

大会スケジュール

10日	10:00 ~ 12:00	教科研講座
	13:00 ~ 14:00	基調報告
	14:15 ~ 17:00	教育問題フォーラム
	17:30 ~ 19:00	教科研総会
11日	9:00 ~ 12:00	分科会①
	13:00 ~ 15:00	分科会②
	15:15 ~ 18:15	合同大集会(講演・現地企画)
	18:30 ~ 20:30	夕食交流会
12日	9:00 ~ 12:00	分科会③
	13:00 ~ 15:00	おわりの集い

参加費

[全日参加] 教職員=5000円 一般=3000円  
大学生・院生=1000円

[1日参加] 教職員=2500円 一般=1000円  
大学生・院生=500円

[高校生以下] 無料

※参加申し込みは、大会当日「受付」でお願いします。

キッズルーム

8月8日までの事前申込制です。  
詳しくは、問い合わせ先にご連絡ください。

## 基調報告

10日(木) 13:00～14:00



### 子どもと教師を信頼する教育科学の創造を 危機の時代を生きる

報告者・佐藤広美 (教科研副委員長)

## 合同大集会

11日(金) 15:15～18:15



### 【講演】

### 人と出会い 言葉と出会うよろこびを

講演者・土佐いく子 (元小学校教諭、なにわ作文の会代表)

【呼びかけ】本当の子どもの姿が見えなくなっている今こそ、心の声を聴きとり、自己表現の喜びと安心のふところを！ 明日に向かって生きてる力を信じ、どの子も見捨てない大人の人垣を

著書『子育てがおもしろくなる話』日本機関紙出版センター (2007/09)

『マジョリン先生の学級づくり たねあかし』フォーラム A (2013/03)

### 【土佐講演 ポストトーク】

現地滋賀・関西の教員や学童保育指導員たちが、土佐講演を聞いてさらにツッコみます。  
さらに会場も交えて語り合しましょう。

## おわりの集い

12日 13:00～15:00

### 【パネルディスカッション】

### 滋賀大会に参加しながら考えたこと

—大会基調報告、教科研研究活動方針案をどう深めていくのか

パネラー ● 神代健彦 (京都)、石垣雅也 (滋賀)、他

## 夕食交流会

11日 18:30～20:30

大会初日・二日目の内容を振り返り、食事をともにしながら語り合しましょう。  
ご当地名物、地酒、銘菓など、お土産大歓迎！

●参加費 4000円 (学生・院生 2000円) ※参加申し込みは当日「受付」でお願いします。

# 🏠 教科研講座

10日(木) 10:00~12:00

講座①	子どものつまずきの原因は教師の授業力にあるのか？ 子どもの学習の現実からその原因を探ります。	【講師】 窪島 務 (滋賀大学名誉教授)
講座②	琵琶湖の命の源びわ湖から敦賀原発まで 30km を切ります。 びわ湖の住民はフクシマ事故を他人事とは思いません。	【講師】 杉原秀典 (彦根・愛知・犬上 原発のない社会をつくる会)
講座③	雑誌『教育』連載中の「経済レンズをかけてみる」の著者がトランプのアメリカを生み出した背景を語る。	【講師】 森原康仁 (三重大学)
講座④	恵那の石田和男氏の著作集(6月発刊)に込められた現代の教育へのメッセージを読み解きたいと思えます。	【講師】 佐貫 浩 (教科研委員長)
講座⑤	戦前に教育勅語が果たした役割。疑問をもった人びと。植民地における矛盾。幽霊としてあらわれ続ける戦後。	【講師】 佐藤広美 (教科研副委員長)

# 🏠 教育問題フォーラム

10日(木) 14:15~17:00

フォーラム A	「生活世界」「子ども理解」が意味しているのは何か？ 原点に戻り、性・家族・労働などを含め、検討します。	【世話人】 田中孝彦 神原昭彦
フォーラム B	今日の学校に広がる「ゼロトレ」「スタンダード」の実態と子ども対策としてとらえるいじめ指導を検証します。	【世話人】 宮下 聡 佐藤 博
フォーラム C	地域ベースで展開されている子ども・若者たちの多様な活動のなかに埋め込まれている教育的価値を探ります。	【世話人】 南出吉祥 福永晃仁
フォーラム D	今、教育現場に足りないものは、愛と情熱ではなく、ヒト(教職員)とカネ(教育費)です！	【世話人】 中田康彦 山崎洋介
フォーラム E	改訂学習指導要領の能力観と構造を批判的に読み解き、わたしたちが目指す教育課程を考え合う。	【世話人】 本田伊克 梅原利夫
フォーラム F	小学校道徳教科書の内容はどうか、検定はどうだったのか、これらを踏まえて、道徳教育の対抗実践を考える。	【世話人】 佐貫 浩 鈴木敏夫
フォーラム G	戦後日本の教育実践と教育学を検討し、子どもと教師を信頼し励ます教育実践の思想・教育学とは何かを考えます。	【世話人】 佐藤広美 一盛 真

# 🏠 分科会

11日(金) 9:00~15:00 12日(土) 9:00~12:00

第1分科会 ● 子どもの生活と文化	● 子どもをめぐる問題や生活実態の背景を探り、そこから何を汲み取るべきかを議論し、未来への希望を展望する。	【世話人】 泉 宜宏 (東京) 本庄 真 (奈良)
第2分科会 ● 青年期教育	● 義務制でない高校で生じがちな排除・切り捨ての論理を超えて、生徒の学びと自立を支える実践を探る。	【世話人】 南出吉祥 (岐阜) 森重友隆 (滋賀)
第3分科会 ● 能力・発達・学習	● 生きづらさの中の子ども・若者。子ども食堂や学習支援の市民の取り組み。● その中で学校での広く深い学びとは。	【世話人】 富田充保 (神奈川) 飯田尚樹 (滋賀)
第4分科会 ● 身体と教育	● 生命・身体をおびやかす諸問題 ● 生命の尊厳・身体危機を克服する取り組み	【世話人】 横田誠仁 (東京) 若林雅己 (滋賀)

第5分科会 ● 美的能力と教育	● 1年を通じた図工実践 ● ヨシ笛と文化活動 ● アール・ブリュットの意味と意義 ● 書教育の現状と実践	【世話人】 北川健次 (滋賀) 山田康彦 (三重)
滋賀から発信する表現と教育		
第6分科会 ● ことばと教育	● ことばの豊かな発達とコミュニケーション ● ことばを育てる国語・外国語の授業 ● 生活に根ざして紡ぐ自己表現活動	【世話人】 神 郁雄 (東京) 瀧口 優 (埼玉)
主権者を育てることばと教育の創造		
第7分科会 ● 社会認識と平和	● 憲法集会 ● 日韓歴史教育 ● 小学校平和学習 ● 沖縄から日本の現在を考える ● 労働問題を学ぶ	【世話人】 神原昭彦 (東京) 家長 隆 (京都)
子どもとともに考える平和と民主主義		
第8分科会 ● 自然認識と教育	● 子ども・青年の科学・技術との乖離状況を探る ● 学習指導要領改訂案の特質解明 ● 豊かな自然認識指導の探求	【世話人】 角田純一郎 (滋賀) 三石初雄 (東京)
自然／理科離れと科学リテラシー形成の課題		
第9分科会 ● 道徳性の発達と教育	● 道徳教材・教科書の分析 ● 対抗的教育実践をどうつくるか ● 多文化社会とナショナルアイデンティティ	【世話人】 奥平康熙 (東京) 藤田昌士 (埼玉)
「道徳科」と対抗的实践		
第10分科会 ● 教育課程と評価	● 2020年に向けて、大きく変わろうとする新学習指導要領 ● その分析と私たちの実践的課題	【世話人】 菅間正道 (埼玉) 北河栄里 (滋賀)
どう見る／どう向き合う 新学習指導要領		
第11分科会 ● 学校づくり	● 子どもと学校の現在 ● 子どもと教職員の権利を守る ● 子ども参加の学校づくり	【世話人】 田沼 朗 (東京) 本田清春 (滋賀)
いまを生きる子どもと共に学校をつくる		
第12分科会 ● 地域と教育	● 原発避難・「帰還」「復興」と子ども・学校 ● 地域の存続と小さな学校の価値 ● 子どもの育ちの社会基盤をさぐる	【世話人】 細金恒男 (東京) 武者一弘 (長野)
地域あつての学校、学校あつての地域		
第13分科会 ● 政治と教育	● 民主主義が試されている中、国家権力の発動に対し、教育においてどのように対抗できるのか検討する。	【世話人】 中田康彦 (東京) 藤本幹人 (滋賀)
安倍政権下の教育政策とわたしたちの課題		
第14分科会 ● 性と教育	● 子どもと性 ● 性の主体を育むには ● ジェンダー観を考える授業	【世話人】 山田真理 (大阪) 中嶋みさき (東京)
自立と共生——子どもたちの性をどう育むか		
第15分科会 ● 発達障害と教育	● 発達障害等をもつ子どもの理解を軸に据えた実践を探り、子どもの「自己の育ち」を支える	【世話人】 福井将道 (滋賀) 小池雄逸 (東京)
子どもの理解を軸に据えた実践を創る		
第16分科会 ● 現代の子育てと親・おとな	● 子ども・若者が考える「人生」と「幸福」 ● 地域で、子ども・若者を支える保護者・援助職・教師の共同を	【世話人】 古川恵理 (滋賀) 田中孝彦 (東京)
子ども・若者の生存・発達を支える共同関係		
第17分科会 ● 教師の危機と希望	● 困難から希望への途 ● 若い教師が見る学校の現在 ● スクール・リーダー論再考 ● 教師の働き方と教育実践	【世話人】 霜村三二 (埼玉) 佐藤光音 (滋賀)
「熱意と献身性」搾取をのり越える		
第18分科会 ● 教室と授業を語る：現場からの希望を	● 新学習指導要領下で子どもの声を聴くこと ● 発達の瞬間としての子どもの声を聴くこと	【世話人】 中村清二 (東京) 荒金 毅 (滋賀)
授業の中の子どもの理解		
特設分科会 ● 学童保育と子どもたちの育ち	● 「荒れる・キレル・閉じこもる」等、学童の指導員や教師を悩ませる子どもたちの多様な言動について考えます。	【世話人】 山崎隆夫 (東京) 家永 薫 (滋賀)
子どもの生き辛さと指導のあり方を考える		

※特設分科会は、11日のみの開催です。

※〔宿泊〕斡旋等はいりません。参加者の皆様ご自身で、早めにお申し込みください。

※〔昼食〕会場付近には飲食店・コンビニなどありません。最寄駅などで購入の上ご来場ください。

問い合わせ先

教育科学研究会事務所 〈火・金 13:00～17:00〉

〒162-0818

東京都新宿区築地町19 小野ビル2階

TEL&FAX

03-3235-0622

E-mail

kyoukaken@nifty.com